

市民活動分野

目標 ～多様な主体が輝くまち～

自治会を中心とする地域団体と **NPO 法人やボランティア団体**、企業・団体、教育機関、個人、行政などの多様な主体が、地域におけるそれぞれの役割を果たしつつ、地域課題の解決に向け協働している社会の実現を目指します。また、市民一人ひとりの人権が尊重され、性別や年齢、国籍などの多様性を認め合うとともに、文化芸術を通じてその創造力や感性を高めることで心豊かに、自分らしく生活できる社会の実現を目指します。

【背景】

(コミュニティ活動関連)

- 市域が広く、人口の偏在がある本市において、複雑化・多様化している地域課題を解決していくためには、それぞれの地域の実情に応じたきめ細かな対応が必要です。
- 本市では、姫路市まちづくりと自治の条例において、情報共有や参画、協働の原則など、住民等がまちづくりの主体となるための基本原則を定め、その原則を尊重した市政運営を行っています。
- 本市の自治会加入率は、全国の中核市の中でも高い水準(※1)にあります。この特長を活かしつつ、自治会などの地域団体と、NPO 法人やボランティア団体、企業・団体、大学などの教育機関、個人、行政などがそれぞれ協力して地域課題の解決を図ることが期待されます。

(人権関連)

- 社会情勢の変化により、インターネットによるいじめ、性的マイノリティへの差別など、人権課題は複雑化・多様化しています。
- 本市は、平成 28 年(2016 年)4 月に姫路市男女共同参画推進条例を施行し、固定的な性別役割分担意識(※2)の解消等を目指し、市民や事業者等と市が一体となった取組を展開するなど、人権尊重社会の実現に取り組んでいます。

(文化振興関連)

- 文化芸術を通じて、人々の創造性を育み、表現力を高めるとともに、多様性を認め合う心豊かな社会の形成を促進するため、本市では、様々な文化芸術事業(※3)を実施し、市民文化の振興を図ってきました。
- また、令和 3 年度(2021 年度)には多彩な舞台芸術に対応した姫路市文化コンベンションセンターを開館し、市民文化の振興や都市の魅力の創造と発信を図ります。

(国際交流関連)

- 本市は、海外の姉妹都市等との間で、観光や学術、文化、スポーツ、経済など様々な分野での交流を深めてきました。
- このような中、グローバル化に伴う訪日外国人や在留外国人の増加(※4)により、これまで以上に、市民レベルでの国際交流や多文化理解を深めることが必要です。

※1 自治会加入率の中核市比較

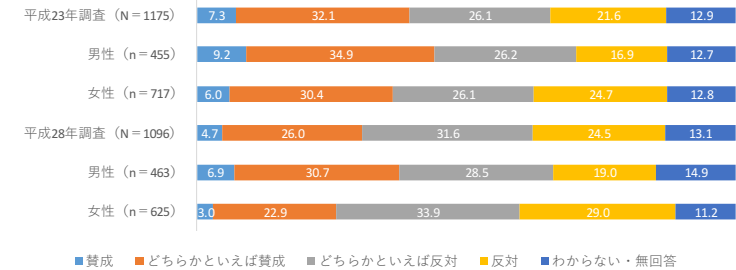
自治会加入率(%)		
1	長野市	96.0
2	姫路市	89.9
3	岡崎市	88.9
4	前橋市	87.9
5	山形市	87.1

※平成30年度

※未集計の高崎市、倉敷市を除く。

(資料) 姫路市調べ(令和元年度)

※2 固定的な性別役割分担意識(「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方)

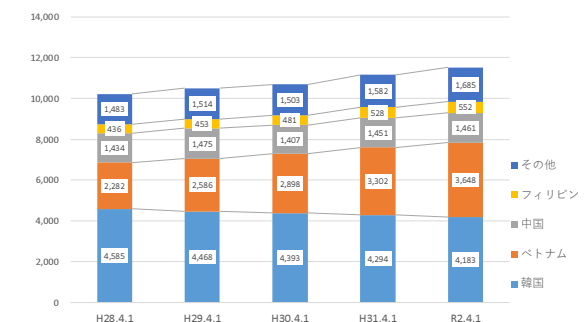


(資料) 姫路市 男女共同参画に関する市民意識調査(平成28年調査及び平成23年調査)

※3 文化芸術事業の例

- 「姫路市民文化祭」(1946 年～)
- 「姫路市美術展」(1946 年～)
- 「姫路落語会」(1973 年～)
- 「交響詩ひめじ合唱コンクール」(1991 年～)
- 「こころの祭 姫路」(1992 年～)
- 「キャスパ能」(1994 年～)
- 「ル・ボン国際音楽祭」(2008 年～)
- 「高校生による演劇公演」(2017 年～)

※4 在留外国人数の推移



(資料) 姫路市住民窓口センター